

# 新しがや

2022年11月13日 No.1406  
日本共産党越谷市委員会  
越谷市花田1-11-15  
電話 962-9595  
留守の時 988-7001

## 保険証と一体化の

## マイナンバーカードの強制は撤回を

政府は、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカード（以下カード）に一体化させる方針を表明しました。しかし、マイナンバー制度に反対する人も多く、カードを作るかどうかは個人々の任意だと法律ではっきり規定されています。生活必需品とも言える健康保険証をカードに統合するのは、



越谷市発行の国保保険証

カード作成を事実上強制するものとなります。

### 交付率は半分以上

越谷市のカードの交付率は、今年10月末時点で48・5%と市の人口の半分以上となつていません。全国でも半分以上です。保険証を一体化させた「マイナ保険証」が昨年十月から始まっていますが、利用者はいまだに全人口の約2割しかありません。デジタル庁のアンケート調査結果では、マイナ保険証を申し込まない主な理由は「メリット・必要性を感じない」が約3割、「手続きが面倒」が約2割、「情報流出が怖い」が約15%などでした。健康保険証とマイナンバーカードの一体化は、多

くの国民が求めているものではないということです。

### 医療現場からも異論

医療現場からも保険証廃止に異論が出ています。マイナ保険証に対応するシステム導入費用や事務の手間が増えます。患者にとっても医療機関にとつても、負担を押し付けるものとなります。また、マイナ保険証を利用できる医療機関は現時点で3割程度しかありません。

マイナ保険証から個人情報が出流するのではないかと、という不安も多くの国民が抱いています。だからこそ、制度そのものに反対する人や、カードを作らない人が多くいるのではないのでしょうか。多くの国民が望んでいない健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化を直ちに撤回させましょう。

# こしがや平和フォーラム

## 2022が開催

11月1日から6日まで、「こしがや平和フォーラム2022」が開催され、平和展がおこなわれました。また、平和講演会が3日おこなわれました。

講演会では国境なき医師団・看護師の吉田照美氏が、南スーダンやウクライナなど紛争地での医療支援について



て講演。

支援先の紛争地では、医療へのアクセスや感染症対応など、基本的な保健・衛生対策がなされていないこと。加えて医療施設への空爆など、非人道的な事が日常にあることなど、医療支援の困難さが語られました。

東京大空襲・戦災資料センター館長の吉田裕氏（写真）からは、戦争体験の風化と継承について講演。

戦後すぐの日本は平和主義が根強く、戦争に関するポジティブな印象が他国より少な

く、あの戦争を2度と繰り返してはならないという強い合意がつけられました。そして戦争の「侵略」「加害」の認識が広がりまし

た。戦争体験の継承をめぐっては、戦争体験世代の減少が、平和資料館入場者の減少と関連していると思われること。全国戦没者追悼式を支えた遺族会の減少

が激しいことから、追悼式のありかたに幅広い議論が必要とも指摘。戦争体験を継承することによって、戦争など自分自身は直接体験していない深刻な現実に対する想像力を育てることにあるのでは

ないか、と強調しました。

平和展では「世界の戦争・紛争と子どもたち」など紛争地の写真が展示され、写真を見入る子どもからは「戦争はとてもこわいたたかいで、いろんな写真をみて、こわいのときょうふをかんじました」（本人提供）などの感想が寄せられました。



## 重い学費負担で

## 食費を削る

民主青年同盟の食糧支援が北越谷駅前で実施されていまず。利用者からは、「コロナ禍で食事の回数減らした」「もやしと豆腐でしのいでいる」「光熱費節約のため暖房を我慢している」などバイト収入を減らした学生の深刻な実態が明らかになっていきます。また、オンライン授業の影響もあり「アパートを契約したまま、実家で授業を受けた」「レポート課題がやたら多くて大変」「学費の安い通信制の大学への編入を検討し

た」といった声も寄せられました。

今年の夏以降は、急激な物価高騰を受け、初めて利用する学生が目立っています。「食費節約のため自炊しようにも、今度はガス代電気代があがり、八方ふさがり」との声も寄せられています。

学生の困窮の最大の原因は「学費・奨学金負担」です。食料支援の時にこのなっている「生活学業実態アンケート」では最も多くチェックの付く学費半減、給付型の奨学金制度の拡充が、今、求められています。

## リレーコラム③4

## 中核市が泣く図書館蔵書数

## 人口比で周辺4市最低(上)

◆越谷市の人口は、10月1日現在344,280人。「中核市だ」、と前市長は胸を張った。その中核市の文化施設は、甚だ貧弱である。その典型が図書館だ◆埼玉県図書館協会統計調査令和4年版(令和3年度)で、隣接3市とその内容を一部、比較してみる。人口一人当たり蔵書数は、越谷1・90冊、草加2・30冊、春日部3・07冊、吉川は5・75冊◆越谷図書館本館に入館して驚くのが、座る椅子、調べ物をするテーブル席が少ないことだ。本館閲覧席数は、越谷177、草加241、春日部146、吉川138。越谷は多そうに見えるが、メインフロアの一階は76席+椅子16脚、2階参考調査室(資料室)は35席、3階読書室は66席で、ほぼ学生の自習室化している。(コロナ禍で席数は、若干の異動あり)◆2階の資料室は本来、図書館にとって最も重要な役割である館蔵書を使って調べ物をする場所である。同じテーブルで新聞閲覧者がバサバサ新聞をめくり、そのたびに風が隣席をおおる。集中して調べ物ができない。新聞閲覧席は、同室入り口席限定なのだが、守られていない。(弥十郎在住 松村一夫)

# topics

## 映画「百年と希望」に勇気

10月29日、サンシティ視聴覚室で「百年と希望」上映会が開催され、勇気をもらったなどの感想が寄せられました。



## レイクタウンに新設校など要望

10月31日、「越谷3学園構想を考える市民の会」が小中一貫校整備計画の見直しを求め、市長、教育長と懇談しました。



## 市党 SNS 学習会

11月5日・6日、市議団と市党で「SNS学習会」を開催しました。



## 日本は核禁条約の批准を

11月7日、北越谷駅で「原水爆禁止越谷協議会」が「日本は核兵器禁止条約を批准せよ」と宣伝しました。



### お知らせ

#### ◆市党統一宣伝行動

日時 11月25日(金)  
午後5時30分～

場所 新越谷・南越谷駅

#### ◆越谷社保協 総会と講演会

日時 11月27日(日)  
午後1時30分～

場所 ほつと越谷

講演 「難聴と聴覚リハビリテーション」他2題

#### ◆越谷革新懇 講演と総会

日時 12月4日(日)  
午後1時40分～

場所 中央市民会館4階

講演 「タイムリミット! 迫る地球温暖化の危機」今、何をなすべきか、何ができるか」

講師 uka(ゆか)さん

#### ◆党街頭演説会

日時 12月11日(日)  
午後3時～

場所 浦和駅東口

弁士 小池晃参議院議員